

景況レポート

No.137

2021 年 10 月～12 月期



北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東 1 丁目 2 番地 1

電話(代) 0157-66-3111

URL: <http://www.shinkin.co.jp/kitami/>

本レポートはホームページでもご覧になれます。

景 気 動 向

道内景気

日本銀行札幌支店が 12 月 13 日に発表した 12 月の企業短期経済観測調査結果(短観)によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数(DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値)は全産業で▲1 となり、前回の調査『▲6』から改善しました。内訳では、製造業(前回 9→今回 12)、非製造業(前回▲11→今回▲6)ともに改善しました。2022 年 3 月までの全産業での先行き予測は▲8 と、悪化の見通しです。

また、12月13日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている。個人消費は、下押し圧力が依然として強いが、一部に持ち直しの動きがみられている。観光は、引き続き厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している。設備投資は緩やかに持ち直している。公共投資は高水準で推移している。住宅投資は緩やかに持ち直している。生産は持ち直しの動きが足踏みしている。輸出は持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

- ・ 公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準で推移している。
- ・ 個人消費では、スーパー、ドラッグストアは、底堅い動きとなっている。家電販売は、弱含んでいる。乗用車販売は、供給制約の影響から、減少している。コンビニエンスストアは、やや低い水準で推移している。百貨店、サービス消費は、下押し圧力が依然として強いが、緩やかに持ち直している。
- ・ 観光は、引き続き厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している。
- ・ 新設住宅着工戸数をみると、持家は持ち直している。貸家は低水準で推移している。分譲は高めの水準で推移している。
- ・ 生産(鉱工業生産)は、主要業種別にみると、食料品では、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直しつつある。電気機械では持ち直しの動きが足踏みしている。輸送機械では供給制約の影響から減少している。紙・パルプでは低水準で推移している。
- ・ 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。
- ・ 消費者物価(除く生鮮食品)は、エネルギー価格を中心に前年を上回っている。
- ・ 企業倒産は、低水準で推移している。

地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が▲23と5ポイントの改善、収益も▲26と5ポイントの改善でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上DI値は▲35、収益DI値は▲37となり、季節要因も加わって悪化の見通しとなっています。

特別調査 【2022年（令和4年）の経営見通し】

当地方における 2022 年の経営見通しをお尋ねしました。

【日本の景気】

「非常に良い」「良い」「やや良い」の合計は 14.5%となりました。昨年の調査（1.1%）から増加しています。

【自社の業況】

「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」の合計は 61.4%となり、昨年の調査（75.1%）から減少しました。

一方、「非常に良い」「良い」「やや良い」の合計は 14.6%（昨年 4.4%）、「普通」は 24.0%（昨年 20.5%）とともに増加しています。

【売上額の伸び率】

「増加」の回答合計は 26.8%となり、昨年の調査（15.5%）から増加しました。

「減少」の回答合計は 44.7%と昨年の調査（62.4%）から減少しました。

改善の傾向は見られますが、昨年と同様に、「減少」の回答合計が「増加」の回答合計を上回っています。

【自社の業況が上向き転換点】

「すでに上向いている」は 7.8%となり、昨年の調査（6.6%）から増加しました。

また、「業況改善の見通しは立たない」についても 32.4%と昨年の調査（27.1%）から増加しています。

【仕入（調達）価格上昇への対応】

「販売価格に転嫁できている・仕入価格は上がっていない」は 25.7%となりました。残りの対応については、

「経費の削減」が 36.3%と最も多く、以下「製品・商品・サービスの見直し」が 20.7%、「仕入先・仕入方法の変更」が 19.6%と続き、「特に対応はしていない」は 21.2%となりました。多くの企業では何らかの対応を取っていることがわかります。

【貴社では、2022 年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。】

《全国》		
1. 非常に良い	1.1%	0.3%
2. 良い	1.1%	1.9%
3. やや良い	12.3%	12.4%
4. 普通	19.0%	28.0%
5. やや悪い	39.1%	40.4%
6. 悪い	22.9%	15.3%
7. 非常に悪い	4.5%	1.8%

【貴社では、2022 年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。】

《全国》		
1. 非常に良い	0.6%	0.3%
2. 良い	1.7%	2.5%
3. やや良い	12.3%	12.6%
4. 普通	24.0%	42.3%
5. やや悪い	44.1%	32.1%
6. 悪い	14.0%	9.0%
7. 非常に悪い	3.3%	1.3%

【2022 年において貴社の売上額の伸び率は、2021 年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。】

《全国》		
1. 30%以上の増加	1.1%	1.6%
2. 20～29%の増加	2.8%	2.6%
3. 10～19%の増加	3.9%	9.9%
4. 10%未満の増加	19.0%	20.2%
5. 変わらない	28.5%	39.1%
6. 10%未満の減少	24.0%	16.3%
7. 10～19%の減少	15.7%	6.8%
8. 20～29%の減少	2.2%	2.1%
9. 30%以上の減少	2.8%	1.5%

【貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。】

《全国》		
1. すでに上向いている	7.8%	14.8%
2. 6か月以内	7.8%	13.4%
3. 1年後	19.5%	23.1%
4. 2年後	16.8%	14.6%
5. 3年後	10.1%	9.9%
6. 3年超	5.6%	6.0%
7. 業況改善の見通しは立たない	32.4%	18.2%

【様々な分野で原材料・仕入価格の上昇が経営上の問題となっていますが、貴社ではどのような対応を取っていますか。上昇分を販売価格に転嫁できている方や、そもそも原材料・仕入価格が上がっていないという方は 1 を、また、価格転嫁できていない方は仕入（調達）価格上昇への対応について 2～0 の中から最大 3 つまで選んでお答えください。】

《全国》		
1. 販売価格に転嫁できている・仕入価格は上がっていない	25.7%	21.3%
2. 仕入先・仕入方法の変更	19.6%	16.8%
3. 製品・商品・サービスの見直し	20.7%	15.8%
4. 経費の削減	36.3%	38.5%
5. 生産性の向上（システム投資など）	8.4%	10.2%
6. 代替品の確保	12.3%	8.3%
7. 仕入の削減（生産・販売量の調整）	11.7%	9.9%
8. 仕入の中止	0.0%	0.7%
9. その他	2.8%	1.5%
0. 特に対応はしていない	21.2%	19.4%

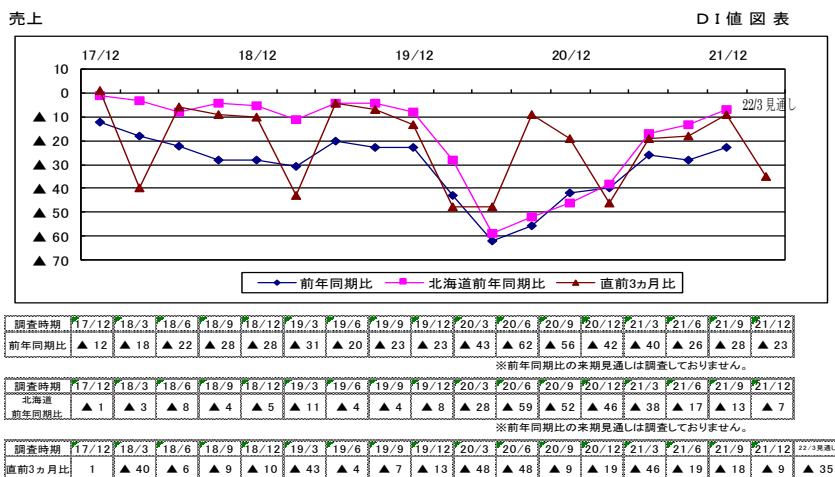
売上

調査対象先企業179社の売上を総体的にみますと、前年同期（20年10～12月）と比較して「増加」した先24%、「変らず」の先29%、「減少」した先47%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲23となり、前回調査より5ポイント改善しました。

業種別でみますと、製造業・卸売業・建設業は改善、小売業・サービス業は悪化となっています。

3ヵ月毎の比較では改善、今後3ヵ月は悪化の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に行った全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



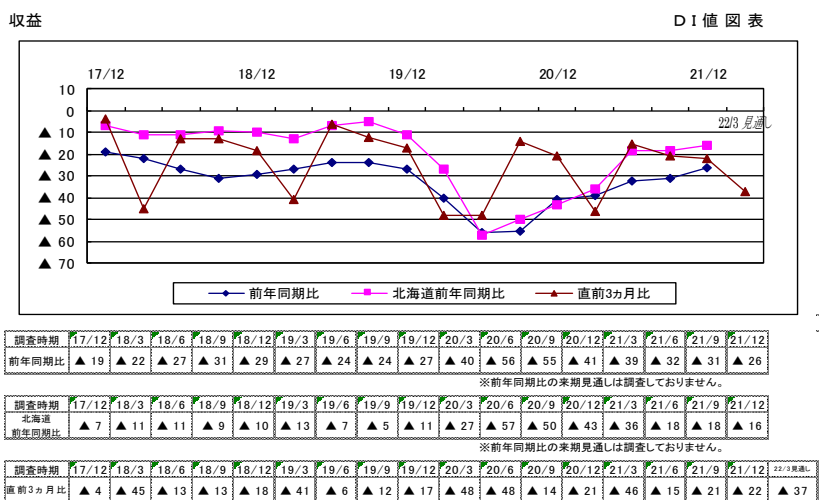
収益

調査対象先企業179社の収益を総体的にみますと、前年同期（20年10～12月）と比較して「増加」した先21%、「変らず」の先32%、「減少」した先47%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲26となり、前回調査より5ポイント改善しました。

業種別でみますと、製造業・卸売業・建設業は改善、小売業・サービス業は悪化となっています。

3ヵ月毎の比較では悪化、今後3ヵ月も悪化の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に行った全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



概況

調査先製造業全体の業況を前年同期(20年10~12月)と比較してみますと、売上で「増加」した先32%、「変らず」の先23%、「減少」した先45%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は▲13となり、前回調査より13ポイント改善しました。

収益は「増加」した先39%、「変らず」の先19%、「減少」した先42%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は▲3となり、前回調査より29ポイント改善しました。

調査回答数(前年同期比)

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(21/9)	8	7	16	▲26
	今回(21/12)	10	7	14	▲13
収益	前回(21/9)	6	9	16	▲32
	今回(21/12)	12	6	13	▲3

動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善しました。

内訳をみますと、建設業の売上・収益が悪化しましたが、それ以外は全般的に改善しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

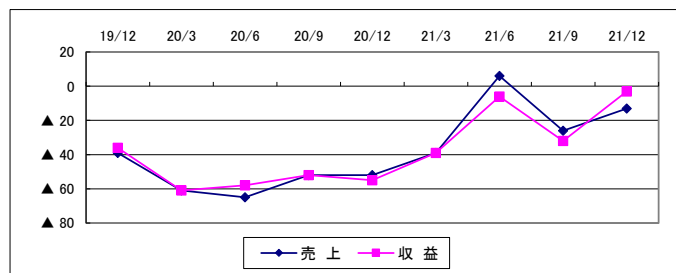
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化する見通しです。

調査員のコメントには、「原材料の仕入価格が上昇しているものの、販売価格を上げると消費者の購買意欲が低下すると考え、当面は価格据え置きで静観する」、「木材価格の高騰が未だに続いており、経営上の問題点となっている」といったものがありました。

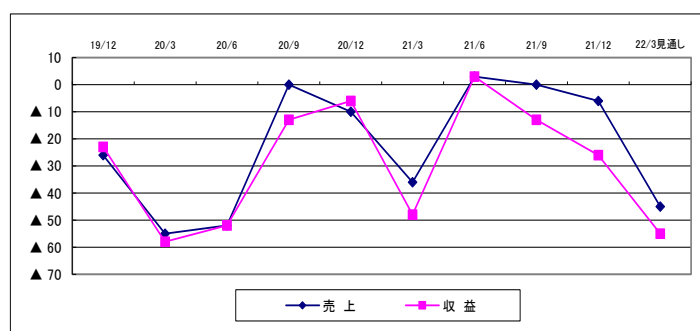
前年同期比

DI値図表



直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3見通し
売上	▲26	▲55	▲52	0	▲10	▲36	3	0	▲6	▲45
収益	▲23	▲58	▲52	▲13	▲6	▲48	3	▲13	▲26	▲55

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目	全 体	食 料 品	木材製品	建設関連	そ の 他	
売 上 額	7月～9月と比較	▲ 6	57	▲ 30	▲ 14	▲ 29
	1月～3月の見通し	▲ 45	▲ 14	▲ 50	▲ 57	▲ 57
収 益	7月～9月と比較	▲ 26	43	▲ 60	▲ 14	▲ 57
	1月～3月の見通し	▲ 55	▲ 15	▲ 70	▲ 71	▲ 57
販売価格	7月～9月と比較	26	14	30	43	14
	1月～3月の見通し	20	29	20	0	29
原材料 価 格	7月～9月と比較	87	86	90	100	71
	1月～3月の見通し	71	71	80	71	57
原材料 在 庫	7月～9月と比較	6	0	▲ 10	29	14
	1月～3月の見通し	▲ 7	0	▲ 20	▲ 14	14
資金繰	7月～9月と比較	▲ 13	▲ 14	▲ 10	▲ 14	▲ 14
	1月～3月の見通し	▲ 26	▲ 14	▲ 40	▲ 14	▲ 29

概 況

調査先卸売業全体の業況を前年同期(20年10～12月)と比較してみますと、売上で「増加」した先36%、「変らず」の先37%、「減少」した先27%で、そのD I 値(増加割合－減少割合)は9となり、前回調査より36ポイント改善しました。

収益は「増加」した先27%、「変らず」の先46%、「減少」した先27%で、そのD I 値(増加割合－減少割合)は0となり、前回調査より23ポイント改善しました。

販売価格は「増加」した先59%、「変らず」の先41%、「減少」した先0%で、そのD I 値(増加割合－減少割合)は59となり、前回調査より32ポイント上昇しました。

調査回答数(前年同期比)

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(21/9)	5	6	11	▲27
	今回(21/12)	8	8	6	9
収益	前回(21/9)	4	9	9	▲23
	今回(21/12)	6	10	6	0
販売価格	前回(21/9)	7	14	1	27
	今回(21/12)	13	9	0	59

動 向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善し、販売価格は上昇しました。

内訳をみますと、建設関連以外は全般的に売上・収益が改善し、販売価格が上昇しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善し、販売価格は上昇しました。

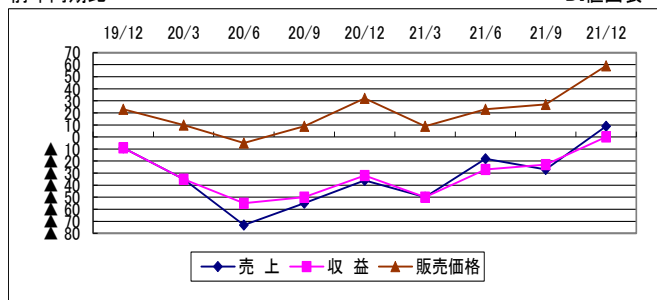
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降する見通しです。

調査員のコメントには、「緊急事態宣言解除後、北見市内の飲食店が再開したことで売上が増加した」、「各メーカーから製品の供給がストップしており、納期の見通しも立たない状況で、すでに一部の在庫は底をついている」といったものがありました。

前年同期比

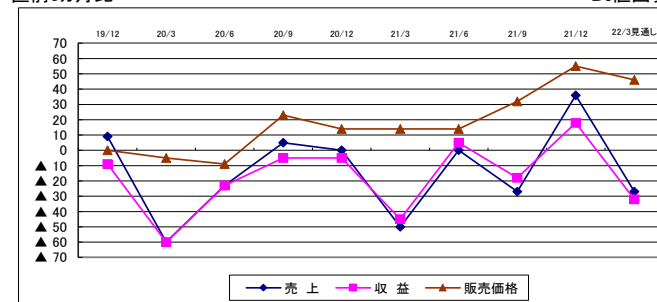
DI値図表



調査時期	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12
売上	▲9	▲35	▲73	▲55	▲36	▲50	▲18	▲27	9
収益	▲9	▲35	▲55	▲50	▲32	▲50	▲27	▲23	0
販売価格	23	10	▲5	9	32	9	23	27	59

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3見通し
売上	9	▲60	▲23	5	0	▲50	0	▲27	36	▲27
収益	▲9	▲60	▲23	▲5	▲5	▲45	5	▲18	18	▲32
販売価格	0	▲5	▲9	23	14	14	14	32	55	46

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	食 料 品	建設関連	そ の 他
売 上 額	7月～9月と比較	36	71	13	29
	1月～3月の見通し	▲27	0	▲63	▲14
収 益	7月～9月と比較	18	43	0	14
	1月～3月の見通し	▲32	▲14	▲63	▲14
販売価格	7月～9月と比較	55	43	63	57
	1月～3月の見通し	46	14	63	57
仕入価格	7月～9月と比較	55	29	75	57
	1月～3月の見通し	36	14	38	57
在 庫	7月～9月と比較	0	14	▲13	0
	1月～3月の見通し	0	▲14	0	14
資 金 繰	7月～9月と比較	0	▲29	13	14
	1月～3月の見通し	▲5	▲14	▲13	14

概 況

調査先小売業全体の業況を前年同期（20年10～12月）と比較してみますと、売上で「増加」した先19%、「変らず」の先23%、「減少」した先58%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲39となり、前回調査より5ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先15%、「変らず」の先24%、「減少」した先61%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲46となり、前回調査より7ポイント悪化しました。

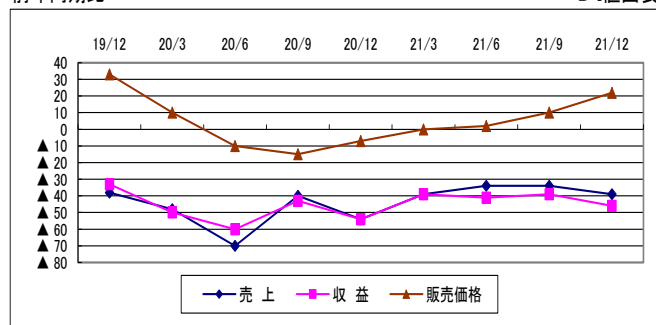
販売価格は「増加」した先29%、「変らず」の先64%、「減少」した先7%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は22となり、前回調査より12ポイント上昇しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(21/9)	7	13	21	▲34
	今回(21/12)	8	9	24	▲39
収益	前回(21/9)	5	15	21	▲39
	今回(21/12)	6	10	25	▲46
販売価格	前回(21/9)	8	29	4	10
	今回(21/12)	12	26	3	22

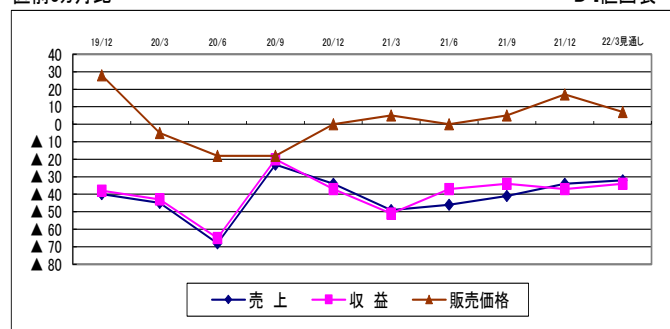
前年同期比

D I 値図表



直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3見通し
売上	▲40	▲45	▲68	▲23	▲34	▲49	▲46	▲41	▲34	▲32
収益	▲38	▲43	▲65	▲20	▲37	▲51	▲37	▲34	▲37	▲34
販売価格	28	▲5	▲18	▲18	0	5	0	5	17	7

動 向

【前年同期との比較】

売上・収益は悪化し、販売価格は上昇しました。

内訳をみますと、衣料品が改善しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上は改善、収益は悪化し、販売価格は上昇しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善し、販売価格は下降する見通しです。

調査員のコメントには、「コロナの落ち着きから、若干売上げが戻りつつあるが、以前の水準には戻っていない」、「赤潮の影響により、仕入価格が上昇しているほか、商品が入ってこない状況である」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目	全 体	衣 料 品	食 料 品	そ の 他
売 上 額	7月～9月と比較	▲34	▲50	▲39
	1月～3月の見通し	▲32	▲67	▲46
収 益	7月～9月と比較	▲37	▲50	▲46
	1月～3月の見通し	▲34	▲67	▲46
販売価格	7月～9月と比較	17	17	31
	1月～3月の見通し	7	▲17	23
仕入価格	7月～9月と比較	39	17	62
	1月～3月の見通し	29	▲17	54
在 庫	7月～9月と比較	▲10	50	▲15
	1月～3月の見通し	▲22	0	▲15
資金繰	7月～9月と比較	▲24	▲17	▲31
	1月～3月の見通し	▲24	▲33	▲31

概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（20年10～12月）と比較してみますと、売上で「増加」した先17%、「変らず」の先40%、「減少」した先43%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲26となり、前回調査より3ポイント改善しました。

収益は「増加」した先20%、「変らず」の先34%、「減少」した先46%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲26となり、前回調査より8ポイント改善しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(21/9)	4	17	14	▲29
	今回(21/12)	6	14	15	▲26
収益	前回(21/9)	4	15	16	▲34
	今回(21/12)	7	12	16	▲26

動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善しました。

内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回▲42→今回▲50
- ・ 同 収益：前回▲58→今回▲42
- ・ 建築売上：前回▲13→今回▲12
- ・ 同 収益：前回▲25→今回▲24

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

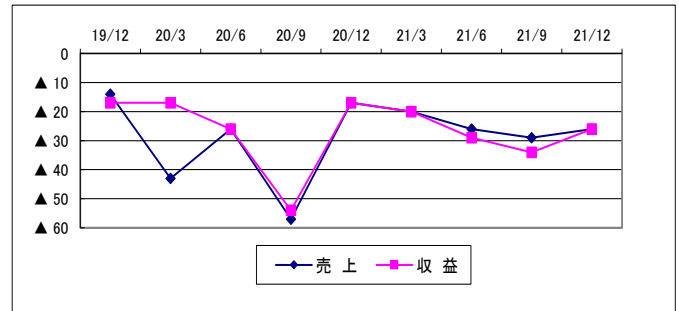
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化する見通しです。

調査員のコメントには、「建売住宅が好調で、建築後すぐに入居者が決定している」、「木材の価格上昇が業界内の問題だが、その分、販売価格を上げ、利益率が変わらないよう注力している」といったものがありました。

前年同期比

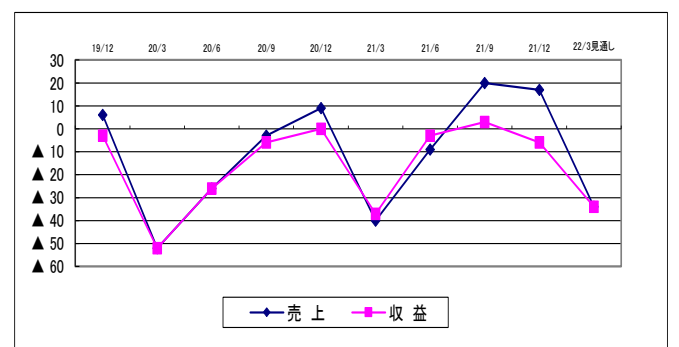
DI値図表



調査時期	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12
売上	▲14	▲43	▲26	▲57	▲17	▲20	▲26	▲29	▲26
収益	▲17	▲17	▲26	▲54	▲17	▲20	▲29	▲34	▲26

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3見通し
売上	6	▲52	▲26	▲3	9	▲40	▲9	20	17	▲34
収益	▲3	▲52	▲26	▲6	0	▲37	▲3	3	▲6	▲34

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	土 木	建 築	そ の 他
売上額	7月～9月と比較	17	8	12	50
	1月～3月の見通し	▲34	▲58	▲24	▲17
施工高	7月～9月と比較	3	▲8	0	33
	1月～3月の見通し	▲31	▲42	▲29	▲17
収 益	7月～9月と比較	▲6	0	▲24	33
	1月～3月の見通し	▲34	▲42	▲41	0
請負価格	7月～9月と比較	17	0	29	17
	1月～3月の見通し	14	0	24	17
材料価格	7月～9月と比較	74	50	88	83
	1月～3月の見通し	71	58	82	67
在 庫	7月～9月と比較	0	0	0	0
	1月～3月の見通し	3	8	0	0
資金繰	7月～9月と比較	0	0	▲6	17
	1月～3月の見通し	▲9	▲8	▲12	0

概 況

調査先サービス業全体の業況を前年同期（20年10～12月）と比較してみますと、売上で「増加」した先20%、「変らず」の先30%、「減少」した先50%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲30となり、前回調査より6ポイント悪化しました。

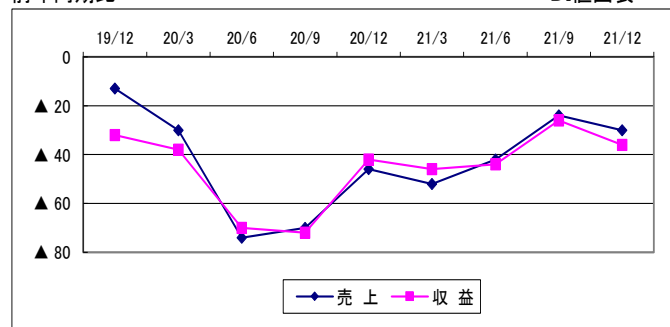
収益は「増加」した先12%、「変らず」の先40%、「減少」した先48%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲36となり、前回調査より10ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(21/9)	8	22	20	▲24
	今回(21/12)	10	15	25	▲30
収益	前回(21/9)	7	23	20	▲26
	今回(21/12)	6	20	24	▲36

前年同期比

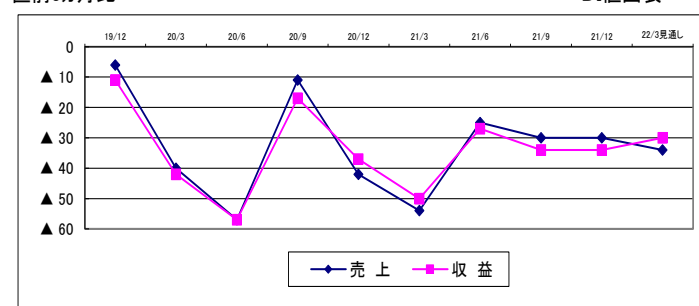
DI値図表



調査時期	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12
売上	▲13	▲30	▲74	▲70	▲46	▲52	▲42	▲24	▲30
収益	▲32	▲38	▲70	▲72	▲42	▲46	▲44	▲26	▲36

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3見通し
売上	▲6	▲40	▲57	▲11	▲42	▲54	▲25	▲30	▲30	▲34
収益	▲11	▲42	▲57	▲17	▲37	▲50	▲27	▲34	▲34	▲30

動 向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

内訳をみますと、全般的に悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに横ばいでした。

【今後3ヵ月の見通し】

売上は悪化し、収益は改善する見通しです。

調査員のコメントには、「コロナ禍による外出自粛に伴い、車両の修理売上が減少している」、「密を避けるために来店制限を実施している。顧客の理解は得られており、来店頻度は下がるものの、客単価は上昇している」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	理容美容	車両関係	そ の 他
売上 額	7月～9月と比較	▲30	▲33	▲47	▲19
	1月～3月の見通し	▲34	▲67	▲33	▲23
収 益	7月～9月と比較	▲34	▲33	▲33	▲35
	1月～3月の見通し	▲30	▲44	▲27	▲27
料金価格	7月～9月と比較	▲2	▲22	0	4
	1月～3月の見通し	▲2	▲22	0	4
材料価格	7月～9月と比較	40	22	60	35
	1月～3月の見通し	40	22	60	35
資金繰	7月～9月と比較	▲32	▲22	▲40	▲31
	1月～3月の見通し	▲32	▲22	▲40	▲31

経営上の問題点 【複数回答】

	1 位	2 位	3 位
製造業	原材料高 74.2%	売上の停滞・減少 35.5%	人手不足 25.8%
卸売業	売上の停滞・減少 59.1%	仕入先からの値上げ要請 31.8%	同業者間の競争の激化 27.3%
小売業	売上の停滞・減少 48.8%	仕入先からの値上げ要請 29.3%	商圈人口の減少 26.8%
建設業	材料価格の上昇 77.1%	人手不足 57.1%	売上の停滞・減少 34.3%
サービス業	売上の停滞・減少 50.0%	材料価格の上昇 26.0%	人手不足 24.0%

経営施策 【複数回答】

	1 位	2 位	3 位
製造業	経費を節減する 64.5%	新製品・技術を開発する 48.4%	販路を広げる 45.2%
卸売業	経費を節減する 63.6%	販路を広げる 59.1%	情報力を強化する 50.0%
小売業	経費を節減する 53.7%	売れ筋商品を取扱う 31.7%	品揃えを改善する 24.4%
建設業	技術力を高める 54.3%	人材を確保する 45.7%	情報力を強化する 40.0%
サービス業	経費を節減する 42.0%	販路を広げる 34.0%	技術力を強化する 22.0%

【調査要領】

1. 調査地域 北見地方1市4町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
2. 調査時点 2021年12月
2021年10月～12月期の実績および見込み
2022年 1月～ 3月期の見通し
3. 調査対象企業 当金庫お取引先179社（任意抽出）
回答企業数 179社
回答率 100%
4. 調査方法 調査表による訪問聞き取り調査
調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
5. 業種別回答企業数

製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	合 計
31	22	41	35	50	179

6. 分析方法
各質問項目を100分比に換算し、パーセント（%）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（D I 値）」で分析を行いました。

企業の経理事務を便利にサポート

インターネットバンキング

WEB－F B

■総合振込 ■給与・賞与振込 ■都度振込 ■口座振替 ■入出金明細照会 ■残高照会

低コスト！

インターネットが使える環境さえあれば、すぐにご利用が可能です。
専用ソフト、専用端末などに余計な経費をかけません。

効率的！

総合振込、給与・賞与振込、都度振込、口座振替業務がインターネット経由でスピーディにご利用いただけます。
振込や振替のデータは外部ファイルから取り込むこともできます。

便利！

登録先の口座以外でも当日振込が可能です。急な振込がオフィスのパソコンから随時できるので便利。
また、振込完了や為替エラーなど、重要な連絡を電子メールでタイムリーにお知らせします。

安心！

一般者用ID、承認者用ID、管理者用IDの3つのIDで権限設定が可能です。
登録したデータの承認を貴社の管理者がダイレクトにできるため、厳密なチェックが可能です。
電子証明書とワンタイムパスワードにより、安全にご利用いただけます。

オホーツク圏経済情勢報告（令和3年7～9月期）概況

	前回(3年8月発表)	今回(3年11月発表)	前回比較	総括判断の要点
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている 【判断の据え置きは、令和3年1－3月期以降、3期連続】	➡	個人消費は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。 一方、観光は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。 また、雇用は、緩やかに持ち直しの動きがみられる。

	前回(3年8月発表)	今回(3年11月発表)	前回比較
個人消費	感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡
観 光	感染症の影響により、弱い動きとなっている	感染症の影響により、弱い動きとなっている	➡
雇 用	一部に持ち直しの動きがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている	緩やかに持ち直しの動きがみられる	➡
公共事業	前年を下回る	前年を下回る	➡
住宅着工	前年を上回る	前年を上回る	➡
先行き	感染対策を徹底するなかで、持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染の動向が地域に与える影響に十分注意する必要がある。		

北海道財務局北見出張所調べ